

所属長印

# 同志社大学

## 2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2008年 3月 4日提出

所属	職名	氏名	印
法学部	教授	鷲江義勝	
研究題目	欧州同盟（EU）の研究		
研究成果の概要	<p>EU の政策決定過程における主要機関である欧州委員会、欧州議会、同盟理事会、欧州理事会、さらには諮問機関である経済社会委員会及び地域委員会を含めた権限関係、特に、これら諸機関の間で行われる政策決定方式を中心に研究を行ってきた。なお、2007年には、新たな動きとして、リスボン条約が、新たにEUの基本条約として合意された。そのため、従来から進めてきた欧州憲法条約の研究に加えて、本年度は、リスボン条約を含めてEUの全体的な改革の状況を中心に分析してきた。</p> <p>本年度の研究成果として、学会報告および既刊のものとしては、以下のものが挙げられる。</p> <p>報告「リスボン条約による理事会および政策決定過程の改革」日本国際政治学学会 2008年度研究大会 国際統合分会会 2008年10月</p> <p>「欧州同盟条約および欧州共同体設立条約を改定するリスボン条約（翻訳）（一）」共訳 『同志社法学』第327号 2008年7月</p> <p>「欧州同盟条約および欧州共同体設立条約を改定するリスボン条約（翻訳）（二）」共訳 『同志社法学』第329号 2008年9月</p> <p>「欧州同盟条約および欧州共同体設立条約を改定するリスボン条約（翻訳）（三）」共訳 『同志社法学』第330号 2008年11月</p> <p>また、近刊予定のものとしては、以下のものが挙げられる。</p> <p>「リスボン条約による理事会および政策決定過程の改定についての一考察」『ワールドワイドビジネスレビュー』第10巻 欧州研究特集号 2009年3月</p>		